

みどりをさがしにでかけよう

No.

6

2018 / 09

ちが咲き

守ろう在来種
生物多様性に影響を与える外来種とは



外来種とは、「今まで生育生息していなかった地域に、人為的手段により移動し、そこに定着して自然繁殖するようになった種」を指します。全ての外来種が悪影響を及ぼすわけではなく、大きな影響を与えずに順応してしまう生きものもありますが、中には非常に大きな悪影響を及ぼす生きものもあります。今号では、茅ヶ崎市内で見られ、生態系に影響を及ぼしている、及ぼす可能性のある外来種について紹介します。身近でできる外来種対策、一緒に考えてみませんか。

茅ヶ崎市 都市部景観みどり課・環境部環境政策課・建設部公園緑地課

作成協力：慶應義塾大学 一ノ瀬研究会 - Greeture Project -



市内で見られる侵略性の強い外来種の例

< 植物編 >



アレチウリ

繁殖力が強く、在来生物の成長を阻害する原因になります。畑に進出すると作物の収量が減少する可能性もあり、人の生活にも影響が出る心配があります。



オオブタクサ

河川敷や荒れ地で多くみられ、他の植物が減少する要因となっています。また、花粉症の原因にもなります。



ツルニチニチソウ

非常に強い繁殖力を持っています。河川、砂防林、里山環境で分布拡大傾向にあり、草本類への影響も懸念されています。耐陰性もあることから、在来植物に大きな影響をおよぼします。



トキワツユクサ

繁殖力が旺盛で、横に広がって群落を作ります。あまり深く根を張らないものの、抜き取りによる除去が難しく、少しでも根が残ると再び広がってしまいます。

<動物編>



クリハラリス（タイワンリス）

野鳥の卵を始め、小動物を捕食します。また、樹皮・枝や果実への食害も見られます。電線ケーブルをかじって断線させる被害も報告されています。また、ニホンリスの分布圏にクリハラリスが侵入すると、ニホンリスの個体数が減少する危険性があります。



アメリカザリガニ

水生昆虫や魚類を捕食してしまいます。また、稲の苗を切断する、畔に穴をあけるなど農業への被害も心配されます。



ミシシippアカミミガメ

在来水生動物と餌等を巡って競合します。また、カメ類や、水生植物、魚類等多様な動植物を捕食します。

外来種被害予防三原則「入れない、捨てない、拡げない（環境省 HP より）」



外来種の被害を予防するために、次のことにご協力ください。

- ①ペットや園芸植物は、最後まで適切に管理（捨てない、逃がさない、放さない）してください。野外に放したり自然の中には絶対に出ていかないようにしましょう。
- ②自宅の敷地内で外来種の植物を発見した場合は、できる限り抜き取ってください。

今年もやります環境フェア！

「ちがさき環境フェア2018のご案内」

茅ヶ崎の自然も、省エネも、企業の取組みも、来て・見て・体験して学べます。親子でクイズラリーに参加して会場を巡り、わが家で今日から取組めることを発見しましょう。

日時 10月20日（土） 10:00～15:30

場所 茅ヶ崎市役所、総合体育館前庭ほか。

詳細は広報ちがさき10月1日号をご覧ください。

お問い合わせ 茅ヶ崎市環境政策課環境政策担当



環境フェア HP は
こちらから

平成29年9月23日、ちがさき環境フェア2017を開催しました。
テーマは「未来へつなごう！環境にやさしいまち」。子どもから大人まで、楽しみながら、
未来の暮らしと地球環境のために、自分ができることを考えていただきました。

昨年の様子

【パネル展示】



市民活動団体等、企業、行政、大学によるパネル展示。自然環境から生活環境まで、様々な活動内容を紹介しました。

【エコマルシェ】



【ワークショップ】



市民活動団体等、企業、行政、大学による体験コーナーを多数開催。
写真は「外来種釣り」コーナー。

屋外会場ではおいしい食べ物が大集合！
茅産茅消をPRしました。